

第2回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日時 令和元年 7月19日(金)
2. 出席者 植野康夫委員、中室雄俊委員、筒井寛昭委員、吉田育弘委員、米川英樹委員
加藤学長、宮下理事(教育)、渡辺理事(総務)、藤井副学長(企画)
- 陪席者 会計担当監事、浅田理事(渉外連携・附属学校園)、岩井参与

3. 議題

◎審議事項

- 1 令和2年度概算要求(機能強化経費、基盤設備整備)について(資料1)
- 2 令和元年度国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)申請について(資料2)

◎報告事項

- 1 国立大学法人奈良設立に関する合意書調印式等について(資料3)

◎その他

4. 議事

◎審議事項

- 1 令和2年度概算要求(機能強化経費、基盤設備整備)について
総務担当理事より、資料1に基づき、令和2年度概算要求(機能強化経費、基盤設備整備)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

- 2 令和元年度国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)申請について
総務担当理事より、資料2に基づき、令和元年度国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)申請について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

また、一法人二大学制度により、業務の集約化、効率化を図るとともに、教育・研究資源を統合的に活用し、「教養教育の充実・強化」「教員養成・教員研修の高度化」「奈良の地での工学人材の輩出」の3つの取り組み等について詳しく説明があった。

○主な意見は次のとおり

- ・法人統合での役職員の減は、その分人数を減らすということか。→ その方向で考えている。

◎報告事項

- 1 国立大学法人奈良設立に関する合意書調印式等について(資料3)
学長より、資料3に基づき、国立大学法人奈良設立に関する合意書調印式等について報告があった。
なお、法人の就任期日について、令和3月10月を目途とするとしているが、令和4年4月も視野に入れていること。大学院改組は令和4年4月を予定していることが伝えられた。

○主な意見は次のとおり

- ・統合の時期を10月にしているが、それなら残りの半期も決算書作成が必要となり事務手続きが煩雑になるがなぜか。
→奈良女子大学の意向によるもの。文科省も令和4年4月からが妥当と言っている。本学の希望も令和4年4月である。
- ・関西文化学術研究都市が今回初めて出てきた。それが今になって出てきたのはなぜか。
→イノベーションを起こしたい思いを、書き表したということ。
- ・大学院改組について、遅れを文科省から指摘される可能性があるのではないか。
→文科省と連絡を継続的にとって、齟齬のないように進めて行きたい。
- ・グローバル社会にどう貢献するかという議論がない。国際的な繋がりやのグランドデザインも欲しかった。